

平成29年度

事業報告

旭川市工業技術センター

目 次

1 旭川市工業技術センター概要	1
（1）所在地	1
（2）沿 革	1
（3）施設の概要	1
（4）建設事業費	1
（5）主要機器	1
（6）事業内容	2
（7）組織	3
（8）事業実績	3
（9）施設維持修繕	4
2 技術基盤	5
（1）工業技術センター設備整備費	5
3 試験, 検査及び測定	7
（1）試験, 検査等の手数料及び件数	7
（2）交付手数料及び件数	7
4 機器開放及び貸室	8
（1）機器の使用料及び件数	8
（2）部屋の使用料及び件数	9
（3）備付物品の使用料及び件数	10
5 技術指導及び相談	11
（1）技術相談・技術指導内容及び件数	11
（2）企業訪問内容及び件数	11
6 講習会, 研修会等の開催	12
（1）講習会等実施状況一覧	12
（2）講習会等実施状況	13
7 情報収集及び提供	14
（1）技術関連図書・資料の開放	14
（2）平成28年度事業報告書の作成	14
（3）ホームページによる情報提供	14
8 その他の主な事業	15
（1）会議等への参加	15
（2）審査員等の派遣	16
（3）職員の研修	16
（4）運営委員会の開催	17
（5）機械金属産業スタートアップ支援事業	17

1 旭川市工業技術センター概要

(1) 所在地 旭川市工業団地3条2丁目1番18号
(TEL 0166-36-3111 , FAX 0166-36-4461)

(2) 沿革 昭和63年 7月 7日 建設工事着工
平成 元年 2月 16日 建設工事しゅん功
平成 元年 4月 14日 開 所

機械金属及び関連工業の技術の向上を図るために、技術指導、研究開発、情報の提供を行い、産業の振興発展に寄与することを目的に設置した。

(3) 施設の概要

敷地面積		建築面積		延床面積		構 造
14,975.00 m ²		1,662.47 m ²		2,651.49 m ²		鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 2階建
室 名	面 積 (m ²)	収容人員 (人)	室 名	面 積 (m ²)	収容人員 (人)	
会 議 室	93.79	36	精 密 測 定 室	70.31	—	
視 聴 覚 室	229.71	150	特 殊 加 工 室	57.62	—	
実 習 試 験 室	175.00	30	メカトロニクス実験室	61.13	—	
設 計 室	76.56	—	材 料 試 験 室	31.25	—	

駐車場収容台数 50台

※室名は主な部屋のみ掲載

(4) 建設事業費 833,849 千円

事業費内訳 建設工事費 553,990 千円
用地取得費 136,137 千円
機器購入費 143,722 千円

財源内訳 道補助金 60,000 千円
日本自転車振興会補助金 104,600 千円
市 債 467,400 千円
一般財源 142,329 千円
その他 59,520 千円

(5) 主要機器

①材料試験機器 万能材料試験機, ショア硬さ試験機, ブリネル硬さ試験機,
ロックウェル硬さ試験機, 微小硬さ計, 真空高温炉, 電気炉,
塩水噴霧試験機, 走査電子顕微鏡, 金属顕微鏡, コンクリート圧縮試験機,
発光分析装置, 蛍光X線分析装置

②非破壊検査機器 超音波探傷機, 磁気探傷機, X線探傷機

③測定・計測機器 静ひずみ測定器, 動ひずみ測定器, 温度記録計, デジタル表面温度計,

デジタル放射温度計，つりあい試験機，つりあい試験機(ポータブル)，電磁膜厚計，高周波膜厚計，超音波厚さ計，電子風速計，ペーパーメーター，粗さ測定器，赤外線映像装置，三次元測定機，万能工具顕微鏡，ハイトマチック，デジタルマイクロスコープ，ミックストシグナルオシロスコープ

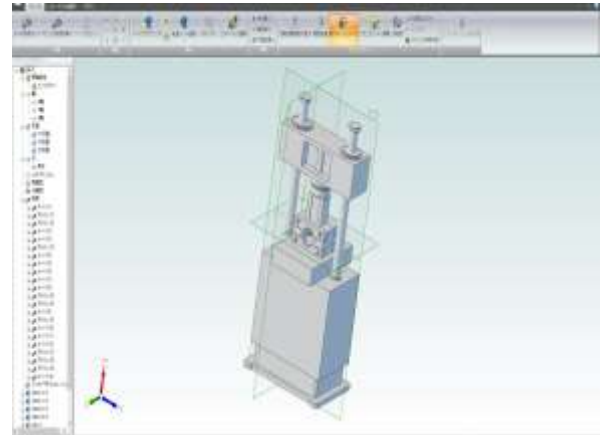
④CAD・CAM

CADシステム，3DCADシステム(Solid Works 2016, Cubify design)，3DCADCAMシステム (Mastercam)

3DCADシステム(Solid Works 2016)



Solid Works を用いた設計例



⑤加工機器

レーザ加工機，旋盤，フライス盤，平面研削盤，シャリングマシン，コーナーシャー，プレスブレーキ，アルゴン溶接機，プラズマ切断機，アーク溶接機，半自動アーク溶接機，ワイヤカット放電加工機，マシニングセンタ，3Dプリンタ

(6) 事業内容

①試験・検査及び測定

工業材料の強度試験（引張・圧縮・曲げ・抗折等），非破壊検査，金属の組織試験，工業計測等依頼試験の実施

②技術指導及び新技術の導入促進

技術相談，技術指導の実施
先端加工技術の普及と指導（難削材加工，精密切断及び熱処理加工等）

③講習会・研修会等の開催

工業技術に関する講習会等の開催による人材育成の実施
平成30年度実施予定講習会等
ア 随時開催

機械製図の基礎	技能入門講座(フライス盤, 旋盤)	NCプログラミング講座
CAD 入門講座	3DCAD 講座	CAM 紹介セミナー
労働安全衛生講習		

イ 他機関との共催

ものづくり体験セミナー，インターンシップ受入れ，制御システム設計講習会，3DCAD 講習会

④技術開発及び共同研究

先端機器による生産加工技術の研究開発
異業種交流の促進，企業との共同研究

⑤技術情報の収集及び提供

工業技術に関する専門図書（雑誌，書籍等）の閲覧

⑥機械金属工業関係団体の指導育成

機械金属及び関係工業の各団体の代表で構成され，機械金属業界の振興を図り，産業の発展に寄与するため設置された旭川機械金属工業振興会の事務局
また，機械金属及び関連企業に対する，企業情報・補助金情報等の提供及び助言等

(7) 組織

経済部 — 経済部長 — 産業振興課長 — 工業技術センター
(1名) (1名) (7名)

┌ 事務職員 4名
└ 技術職員 3名
(内 嘱託職員 2名)

(8) 事業実績

(単位：件，時間，人)

実施事業	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	
・ 試験，検査及び測定	試験等依頼件数	1,580	1,437	1,467	1,006	1,250	
	成績書謄本交付件数	5	0	2	10	8	
	(小計)	1,585	1,437	1,469	1,016	1,258	
・ 機器開放及び貸室	部屋及び物品使用件数	156	183	190	215	171	
	機器使用	件数	562	494	495	448	499
		時間	1,796	1,417	1,442	1,173	1433
	(小計)	718	677	685	663	670	
・ 技術指導及び相談	面接相談指導件数	95	83	87	85	96	
	企業訪問指導等件数	10	42	25	27	11	
	(小計)	105	125	112	112	107	

(実施事業)	(年 度)	(H25)	(H26)	(H27)	(H28)	(H29)
・講習会，研修会等の開催	講習会等開催件数	74	101	66	68	58
	受講者数	354	352	356	376	382

(9) 施設維持修繕

(単位：千円)

年度	施設修繕	金額	修繕内容
25	旋盤チャック補修	227	旋盤チャックの取替及び調整を行った。
	万能材料試験器修繕	99	手動操作パネルの補修を行った。
	レーザー加工機用動力制御盤修繕	197	動力制御の基盤交換を行った。
	1F 女性用トイレ修繕	117	温水暖房便座の取替を行った。
	メカトロニクス実験室修繕	6	自動火災報知器の修繕を行った。
26	シャリングマシン修繕	24	ブレーキハンドル固定金具の調整を行った。
	多目的室コンセント等修繕	415	多目的室のコンセント増設，スイッチの切替を行った。
	光ケーブル用配管修繕	195	光通信ケーブル用の配管を整備した。
	水銀灯修繕	110	安定器及びランプを修繕した。
	パネルヒーターサーモバルブ取替修繕	118	多目的室のパネルヒーターのサーモバルブを修繕した。
	シャリングマシンブレード交換修繕	75	破損したブレードの交換を行った。
	バランスングマシン修繕	349	バッテリー交換，データの再校正，測定性能検査を行った。
	ブラインド修繕	29	計算機室他7部屋のブラインドボトムキャップ，ワッシャーを交換し，操作棒を修繕した。
27	駐車場区画線修繕	106	駐車場の区画線の塗装を行った（44台分，うち障害者等用スペース1台）。
	消火用ホース交換修繕	21	工作棟2階の消防用ホースの交換を行った。
	万能材料試験器つかみ歯交換修繕	540	万能材料試験器のつかみ歯の交換を行った。
	男子トイレドア取っ手交換修繕	16	1階男子トイレのドアの取っ手の交換を行った。
	特殊加工室蛍光灯不点修繕	16	特殊加工室の蛍光灯安定器を交換した。
	動力配線修繕	209	レーザー加工機用冷却塔用動力配線及び配管を修繕した。
	空調機故障修繕	41	空調機（PAC-2）に暖房運転専用の外付けスイッチを新設した。
	多目的室蛍光灯不点修繕	16	多目的室（旭川板金工業協同組合使用分）の蛍光灯安定器を交換した。

年度	施設修繕	金額	修繕内容
28	タイルカーペット貼り替え修繕	59	風除室のタイルカーペット貼り替えを行った。
	温水循環ポンプ部品交換修繕	76	空調機械室の温水循環ポンプの部品交換を行った。
	ガス警報器交換修繕	38	給湯室にあるガス漏れ警報器及びCO警報器の交換を行った。
	ブラインド部品交換修繕	16	顕微鏡室にあるブラインドの部品交換を行った。
	「Co-gi」蛍光灯不点修繕	19	「Co-gi」の蛍光灯安定器を交換した。
	万能材料試験機修繕	203	油圧装置の油交換及びホースの交換を行った。
	万能材料試験機修繕	104	試験力センサーケーブルの交換を行った。
	レーザー加工機修繕	867	X軸ケーブルベア及びZ軸モーターの交換を行った。
	高圧気中負荷開閉器交換修繕	550	高圧気中負荷開閉器の交換を行った。
29	多目的トイレ修繕	232	多目的トイレの部品を交換した。
	警報用予備電池取替修繕	33	警報用予備電池の取替を行った。
	物置ガラス修繕	8	割れたガラスの修繕を行った。
	事務所警報盤修繕	27	警報盤の修繕を行った。
	破風修繕	120	破風の修繕を行った。
	実習試験室照明修繕	291	実習試験室の照明を水銀灯からLEDに取替えた。

2 技術基盤

公設試験研究機関は、地域企業の研究開発の支援機関として大きな役割を担っており、本市には木工芸及び窯業の生産技術の向上並びに品質改善等の研究指導を行う旭川市工芸センター、機械金属及び関連工業の技術指導、研究開発、情報提供を行う旭川市工業技術センターがある。

これらの施設の技術指導用機器の拡充などを通して試験研究の推進、技術指導の強化を図り、地域企業、工業の振興発展に努めている。

(1) 工業技術センター設備整備費

目的 機器等の整備を進め、工業技術センターの機能を充実し、機械金属工業等の製品の高付加価値化、生産の合理化を図る。

始期 平成元年度

機器導入実績

(年 度)	(金 額)	(機 器)
平成11年度	7,164 千円	コンクリート圧縮試験機 集じん装置付卓上グラインダー装置 セラキャリパチェッカ
平成12年度	3,830 千円	バランスングマシンベルト駆動装置 標準尺測定器 超精密四直角測定器 超音波探傷試験用標準試験片 ホールテスト パーソナルコンピュータ5台(講習会用)
平成13年度	22,667 千円	万能材料試験機(日本自転車振興会補助対象機器) メカニカルデスクトップ 業務用掃除機
平成14年度	23,342 千円	発光分析装置(日本自転車振興会補助対象機器)
平成18年度	777 千円	プレスブレーキワンタッチホルダー取付
平成19年度	609 千円	炭酸ガスデジタルインバータ溶接機2台
平成20年度	881 千円	ファンクションジェネレーター シーケンスプログラミングソフト 汎用コンパクト電源 デジタル・マルチメーター他制御機器2台 テスター10台
平成21年度	563 千円	蛍光X線分析装置(6年リース契約) シーケンサ実習機 汎用コンパクト電源
平成22年度	10,558 千円	シーケンサ実習機5台 デジタルマイクロスコープ ミックスドシグナルオシロスコープ
平成26年度	92 千円	3DCAD(Solid Works 2015)(5年リース契約)
平成27年度	50 千円	3DCAD(Cubify Design Software)
平成28年度	547 千円	3DCADCAM(Master Cam)(5年リース契約)
平成29年度	39,582 千円	レーザ加工機更新 (公益財団法人JKA補助対象機器) 3Dプリンタ

3 試験, 検査及び測定

(1) 試験, 検査等の手数料及び件数

			合 計	
項 目		1 件当 (円)	件 数	金 額(円)
材 料 試 験	引 張 試 験	1,780	905	1,610,900
	曲 げ 試 験	1,780	12	21,360
	せ ん 断 試 験	1,780		
	圧 縮 試 験	1,780	331	589,180
	抗 折 試 験	1,780		
	破 壊 試 験	2,830	1	2,830
	偏 平 試 験	2,830		
	荷 重 試 験	2,830		
	硬 さ 試 験	510		
	微 小 硬 さ 試 験	3,780		
	顕 微 鏡 組 織 試 験	6,250		
	マ ク ロ 組 織 試 験	3,570	1	3,570
	電 子 顕 微 鏡 試 験	6,510		
	発 光 分 析 試 験	7,950		
計測 ・ 測定 試 験	寸法精度測定 0.1 mm以上	820		
	寸法精度測定 0.01 mm以上	1,420		
	寸法精度測定 0.01 mm未満	3,570		
	粗 さ 測 定	2,200		
	膜 厚 試 験	510		
	厚 み 試 験	330		
合 計			1,250	2,227,840

(2) 交付手数料及び件数

			合 計	
項 目		1 通当 (円)	件 数	金 額(円)
成 績 書 謄 本		310	8	2,480

4 機器開放及び貸室

(1) 機器の使用料及び件数

機 器 名		1H当 (円)	合 計		
			件 数	(H)	金 額(円)
材 料 試 験 機 器	万能材料試験機	3,330	1	1	3,330
	シヨア硬さ試験機	420	1	1	420
	ロックウェル硬さ試験機	420			
	ブリネル硬さ試験機	420			
	微小硬さ計	470			
	金属顕微鏡	490			
	真空高温炉	940			
	塩水噴霧試験機	520	1	4	2,080
	走査電子顕微鏡	2,490			
	電気炉	630			
	コンクリート圧縮試験機	1,610	1	2	3,220
	発光分析装置	3,450			
	蛍光X線分析装置	2,740	75	78	213,720
非 破 壊 検 査 機 器	超音波探傷機	610	1	2	1,220
	磁気探傷機	410			
	X線探傷機	410	1	4	1,640
測 定 計 測 機 器	静ひずみ測定器	590			
	動ひずみ測定器	740			
	温度記録計	420			
	デジタル表面温度計	390			
	デジタル放射温度計	400			
	つりあい試験機	1,310			
	つりあい試験機(ポータブル)	590			
	電磁膜厚計	410			
	高周波膜厚計	400	1	2	800
	超音波厚さ計	420			
	電子風速計	400			
	ペーハーメーター	390			
	粗さ測定器	680			
	赤外線映像装置	990			
	三次元測定機	1,660			
万能工具顕微鏡	1,210				

			合 計		
機 器 名		1H当 (円)	件 数	(H)	金 額(円)
測定 計測 機器	ハイトマチック	420	1	2	840
	デジタルマイクロスコープ	1,500	3	14	0
	ミックスドシグナルオシロスコープ	630	1	6	3,780
CAD	CAD システム	1,850			
加 工 機 器	レーザ加工機	3,780	207	545	2,060,100
	旋 盤	840	12	35	29,400
	フ ラ イ ス 盤	940	8	41	38,540
	平面研削盤	840	1	1	840
	シャリングマシン	840	65	128	107,520
	コーナーシャー	740	8	13	9,620
	プレスブレーキ	840	63	155	130,200
	アルゴン溶接機	570			
	プラズマ切断機	470			
	アーク溶接機	550	15	167	91,850
	半自動アーク溶接機	520	16	169	87,880
	ワイヤカット放電加工機	1,480	17	63	93,240
	マシニングセンタ	1,260			
合 計			499	1433	2,880,240

※件数は使用料減免分を含む。

※速報値のため数値が変動する場合があります。

(2) 部屋の使用料及び件数

			合 計	
種 別	時間区分	使用料	件 数	金 額(円)
会 議 室	午 前 (9時～12時)	1,570	19	31,360
	午 後 (13時～17時)	2,100	22	48,720
	夜 間 (18時～21時)	2,620	12	34,560
	全 日 (9時～21時)	5,250		
視 聴 覚 室	午 前 (9時～12時)	3,670	36	137,920
	午 後 (13時～17時)	4,200	35	152,040
	夜 間 (18時～21時)	4,720	2	9,440
	全 日 (9時～21時)	9,450	5	49,140

			合計	
種 別	時間区分	使用料	件 数	金 額(円)
実習試験室	午 前 (9時～12時)	3,150	14	49,140
	午 後(13時～17時)	3,670	13	52,820
	夜 間(18時～21時)	4,200		
	全 日 (9時～21時)	8,400	3	26,880
合 計			161	592,020

※金額には、冬期（11/1～4/30）暖房料を含む、件数は使用料減免分を含む。

(3) 備付物品の使用料及び件数

			合 計	
品 名	単 位	使用料	件 数	金 額(円)
スライド映写機	1 回 (台)	310		
投 影 機	1 回 (台)	520		
ビ デ オ テ レ ビ	1 回 (式)	520		
ビデオプロジェクター	1 回 (式)	520	10	4,680
コ ピ ー 使 用 料	1 枚	10		
合 計			10	4,680

※件数は使用料減免分を含む。

- (4) 製品開発（改良含む）状況の聞き取りを行う。
- (5) 企業に応じたセンターの機器並びに施設等のPRを行い、利用の促進に努める。
- (6) センターに対する意見要望を聞き、今後の運営に活かす。

6 講習会，研修会等の開催

(1) 講習会等実施状況一覧

日時	テーマ	日数 (日)	受講者 (延べ数)	講師	備考
4/6	材料力学入門	1	12	センター講師	
4/18,19	CAD 入門講座	2	2	センター講師	
4/24	CAM 紹介セミナー	1	1	センター講師	
5/8~10	CAD 入門講座	3	3	センター講師	
6/6,7	CAD で学ぶ機械製図の基礎	2	2	センター講師	
6/27,28	CAD 入門講座	2	4	センター講師	
7/2	外部講習（機械設計編）	1	9	センター講師	
7/31~8/2	サマーキャンプ（1回目）	3	38	外部講師 センター講師	実数値
8/7~9	サマーキャンプ（2回目）	3	27	外部講師 センター講師	実数値
9/4	基礎から学ぶ 3DCAD 講座	3	3	センター講師	
9/10	ものづくり体験	1	22	センター講師	
9/12,13	技能入門講座（旋盤）	2	2	センター講師	
11/1	施設見学会	1	43	センター講師	
11/13~16	最先端技術習得講習会 （3DCAD 機械設計編）	4	36	外部講師	
11/15~17	溶接技能向上講習会	3	51	外部講師	
12/4,5	最先端技術習得講習会 （3DCAD 機械設計編 Fusion360）	2	46	外部講師	
1/10,11	基礎から学ぶ 3DCAD 講座	2	2	センター講師	
1/19	基礎から学ぶ 3DCAD 講座	1	1	センター講師	
1/23,24	技能入門講座（旋盤）	2	2	センター講師	
2/8	最先端技術習得講習会 （3DCAD 鉄骨設計編）	1	8	外部講師	
2/13,14	最先端技術習得講習会 （制御システム設計講座）	2	18	外部講師	
2/24	技能入門講座（旋盤）	1	1	センター講師	
3/5	レーザー加工機講習会	1	26	外部講師	
3/7,9,19	レーザー加工機実習	3	3	センター講師	
3/13	レーザー加工機実習	1	1	センター講師	
3/15,20,27	レーザー加工機実習	3	1	センター講師	
3/22	安全衛生講習	1	12	センター講師	
3/22	レーザー加工機実習	1	1	センター講師	
3/25	レーザー加工機実習	1	1	センター講師	
3/28	レーザー加工機実習	1	1	センター講師	
3/30	レーザー加工機実習	1	1	センター講師	
3/29,30	基礎から学ぶ 3DCAD 講座	2	2	センター講師	
合 計		58	382		

(2) 講習会等実施状況

① 工業技術センター主催の講習会

テ ー マ	講 習 会 内 容
<p>■材料力学入門 4/6 講師：秋元 俊之</p>	<p>材料力学に関する基礎について講習を実施</p>
<p>■CAD入門講座 4/18, 19 5/8, 9, 10 6/27, 28 講師：田母神 筈司</p>	<p>機械図面の作成に必要なCADの入門的な講座。AR-CAD（アーキテクチャキャド）というソフトを用いて、受講者が実際にPCを操作する体験型講座を実施</p>
<p>■CAM紹介セミナー 4/24 講師：田母神 筈司</p>	<p>MasterCAMを使用した3D図面作成からツールパス作成、機械工作までを紹介</p>
<p>■CADで学ぶ機械製図の基礎 6/6, 7 講師：田母神 筈司</p>	<p>CADの基本的な作図コマンドの使い方や機械製図の基礎（製図規格、投影法、断面図や対称図形の表示法など）についての講座を実施。</p>
<p>■外部講習（機械設計編） 7/2 講師：藤本 覚也</p>	<p>振動の種類、問題となる現象、制振方法について講習を実施。</p>
<p>■基礎から学ぶ3DCAD講座 9/4 1/10, 11, 19 3/29, 30 講師：藤本 覚也</p>	<p>3DCAD（Fusion360）を用いた課題作成、各種解析について講座を実施</p>
<p>■技能入門編（旋盤） 9/12, 13 1/23, 24 2/24 講師：田母神 筈司</p>	<p>金属加工工作機械（旋盤）を操作し、初心者に必要な基礎技能の習得から、簡単な課題製作までを実施。</p>
<p>■レーザ加工機実習 3/7, 9, 13, 15, 19, 20, 22, 25, 27, 28, 29, 30 講師：藤本 覚也</p>	<p>レーザ加工機の操作、CAM編集、NC機械について講習を実施</p>

② 他機関との共催

テ ー マ	講 習 会 内 容
■ものづくりサマーキャンプ 1回目：7/31～8/2 2回目：8/7～9	旭川機械金属工業振興会と共催で実施。 高校生を対象に地元企業への就業意識醸成を目的として地元の機械金属関連企業の見学、経営者による講演、インターンシップを実施。
■溶接技能向上講習会 11/15～17 講師：外部講師	旭川溶接協会・北海道科学技術総合振興センター（公財）との共催で実施。 旭川地域等における溶接に関する基礎技術の習得及び技能者の育成を目的に、当該試験に向けた事前講習会を実施。
■ものづくり体験セミナー 9/10 講師：秋元 俊之	ポリテクセンター開催のものづくり体験セミナーに出展。 工業技術センターの紹介とハンドスピナーの製作体験実習を実施。
■最先端技術習得講習会 ・3DCAD（機械設計編 SolidWorks） 講師：外部講師 11/13～16 ・3DCAD（機械設計編 Fusion360） 講師：外部講師 12/4, 5 ・3DCAD（鉄骨設計編） 講師：外部講師 2/9 ・システム制御講座 講師：外部講師 2/13, 14	（独）国立高等専門学校機構 旭川工業高等専門学校、北海道立旭川高等技術専門学院、（一社）北海道機械工業会鉄骨部会旭川支部、旭川機械金属工業振興会、旭川商工会議所、AUTODESK社と共催で実施。 基礎技術の向上や新技術、高度な技術の習得、高付加価値型製品開発、生産体制の強化等、地元企業における競争力強化を目的として開講。機械、鉄骨の用途別に異なる3DCADの講習会を開催し、基本操作、課題製作を通して3次元設計の重要性の理解促進に努めた。また、機械等の自動化、省力化に向けた動くものづくり製品の開発に不可欠なシステム制御講座を開催し、シーケンス制御、プログラミング実習を通して制御技術の重要性について理解促進に努めた。

7 情報収集及び提供

（1）技術関連図書・資料の開放

ロビーで専門図書、技術雑誌及び各種情報を提供した。

（2）平成28年度事業報告書の作成

平成28年度事業報告書を作成した。（平成29年7月発行）

（3）ホームページによる情報提供

◆旭川市工業技術センターホームページ

<URL> <http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/dept/50000000/50350000/>

- <内容>
- ・沿革
 - ・事業内容
 - ・新導入／主要機器紹介
 - ・開放設備機器
 - ・会議室／視聴覚室の貸室
 - ・依頼試験／検査
 - ・技術相談／指導／支援
 - ・各種講習会開催
 - ・技術関連図書の閲覧／貸出
 - ・技術者紹介
 - ・企業情報データベース（内容の更新）
 - ・交通アクセス
 - ・関連リンク
 - ・東日本大震災一時疎開受入

8 その他の主な事業

(1) 会議等への参加

■レーザ加工機導入に伴う補助事業事務手続説明会等

日時：平成29年4月13日，14日

場所：アルカディア市ヶ谷5F（東京都千代田区）ほか

■技術移転フォーラム2017「工場試験場成果発表会」

日時：平成29年5月31日

場所：ホテル札幌ガーデンパレス（札幌市）

■中小企業施策説明会

日時：平成29年6月12日

場所：ニューオータニイン札幌（札幌市）

■北海道技術振興連絡協議会 平成29年度会議

日時：平成29年7月5日，6日

場所：オホーツク木のプラザ（北見市）

■MF-TOKYO2017等

日時：平成29年7月11日～13日

場所：東京ビックサイトほか

■ポリテクセンター旭川運営協議会

日時：平成29年7月19日，平成30年1月30日

場所：ポリテクセンター旭川

■ユジノサハリンクス道北物産展

日時：平成29年10月13日～15日

場所：ロシア連邦サハリン州ユジサハリンクス市

■ビジネスEXPO2017「第31回北海道技術・ビジネス交流会」

日時：平成29年11月9日，10日

場所：アクセスサッポロ（札幌市）

■新価値創造展2017

日時：平成29年11月15日～17日

場所：東京ビッグサイト（東京都江東区）

■道内公設試情報収集

日時：平成29年11月30日～12月1日

場所：室蘭テクノセンター，苫小牧テクノセンター

■第18回北海道地域産業技術連携推進会議

日時：平成30年2月13日

場所：経済産業省北海道経済産業局（札幌市）

■北のものづくりネットワーク会議兼「参入促進支援事業」合同研究会

日時：平成30年2月27日

場所：北海道総合研究プラザ（札幌市）

■旭川機械金属工業振興会企業見学会

日時：平成30年3月15日，16日

場所：株式会社井関（熊本県上益城町）ほか

（2）審査員等の派遣

■一般財団法人旭川産業創造プラザ平成29年度夢づくりものづくり支援事業助成金審査会出席

場所：旭川リサーチセンター

（3）職員の研修

■玉掛け技能講習

日時：平成29年9月29日～10月1日

場所：旭川市工業技術センター

■天井クレーン定期自主検査者安全教育

日時：平成29年11月8日

場所：NTTセミナーセンタ（札幌市）

■ レーザ加工機導入に係る操作講習

日時：平成30年2月20日，21日

場所：アマダソリューションセンター（伊勢原市）

（4）運営委員会の開催

■ 平成29年度第1回旭川市工業技術センター運営委員会開催

日時：平成29年8月24日

場所：旭川市工業技術センター

議題：平成28年度事業報告，平成29年度事業計画，その他

（5）機械金属産業スタートアップ支援事業

■ 目的：本市機械金属産業における競争力及び生産基盤の強化を図るため，新ビジネスの創出，経営の早期安定化及び高付加価値型製品・技術開発の促進等を目的に，本市を中心とする地域関係機関と連携した支援体制を構築し，先進技術・最新機器を活用した総合的な人材育成支援を実施する。

■ 支援対象：機械金属産業における創業予定者，創業後5年未満の者，第二創業者，その他これらに準じると認められる者。

■ 支援内容：（1）新規創業者等に対する各種相談対応
（2）新製品開発又は新技術の開発等に関する技術指導
（3）試作・新製品開発等に係る3Dプリンター，センター内工作機及び機器等の使用に関する指導
（4）創業者等が抱える課題に合わせた各種専門家等の派遣対応
（5）その他，本事業の推進に必要な事項

■ 実施場所：ファブレスインキュベートルーム「CO-GI」（コーギ）
旭川市工業技術センター 2階

■ 開始日：平成26年10月15日（＝「CO-GI」開設日）

「CO-GI」（コーギ）



旭川市工業技術センター運営委員会委員名簿

【平成30年3月31日時点】

区分	所 属	職 名	氏 名
機 械 金 属 工 業 等 関 係	旭川機械金属工業振興会	会 長	佐々木 通彦
	旭川鐵工組合	組 合 長	媚山 正人
	旭川溶接協会	会 長	松田 誠一
	(一社)北海道機械工業会旭川支部	支 部 長	長谷川 敦彦
	旭川工業団地協同組合	理 事 長	藤原 貞雄
	旭川板金工業協同組合	理 事 長	村椿 幸二
	旭川塗装工業協同組合	副 理 事 長	中島 康夫
学 識 経 験 者	旭川商工会議所	事 務 局 長	川口 勤
	(独)国立高等専門学校機構 旭川工業高等専門学校	教 授	岡田 昌樹
	(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構 北海道支部北海道職業能力開発促進 センター旭川訓練センター	訓練センター長	相楽 智輝
	(一社)北海道建築士会旭川支部	女性委員会 副委員長	齊藤 裕美
	北海道立旭川高等技術専門学院	学 院 長	森 永 泰 三

平成29年度旭川市工業技術センター事業報告

平成30年7月発行

発行：旭川経済部産業振興課工業技術センター

〒078-8273

旭川市工業団地3条2丁目1-18

TEL：0166-36-3111

FAX：0166-36-4461

E-mail：kougyoucenter@city.asahikawa.hokkaido.jp

URL：<http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/dept/50000000/50350000/>